

1 国語

学校番号

208

令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	3	年次	3
使用教科書	新編現代文B（東京書籍）						
副教材等	日本文学史必携 新装版 現代文読解WORKS レッスン1 現代文プレトレ標準編 等						

1 担当者からのメッセージ

- ・3年生では幅広い年代、ジャンル、内容の文章をより深く読み、仲間の感想や意見を聞き取ると同時に、自分なりの意見を持ち、適切に伝えられるようにしましょう。
- ・文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
- ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
- ・漢字の小テストは毎回しっかり予習してきてください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	論理的な文章を読んで、展開の仕方や論点の把握などができるようになる。 教材：茂木健一郎「最初のペンギン」	○			◎	○	a：文脈を考え、語句や表現に注意しながら文章を読んでいる。 d：文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表する。 e：文章の要点を押さえながら短くまとめる方法を身につけている。	a：行動の観察と確認 d、e：記述の分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	主人公の内面の苦悩と孤独を独特の文体で描いた文学作品を味わう。 教材：中島敦「山月記」	○	◎			○	a：文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。 b：文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み発表する。 e：国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 b：記述の確認及び発表準備の観察 e：記述の確認及び定期考査
	限定された時間内で	国語常識や現代におけるキーワードについて学び、定められた短時間で、文章の筆者が何を伝えようとしているかを深く、正確につかめるようになる。 教材：副教材			○	○	◎	c：条件に応じた文章を効果的に表現している。また適切な漢字を用いて書くことができる。 d、e：現代におけるキーワードを理解し、筆者の主張を正しく読み取る。	c、d、e：記述の点検と確認及び定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取る。 教材：岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」	○			◎	○	a：文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 d：文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、資料を調べ、その成果をまとめて発表し、報告書に編集する。 e 読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a、d、e：行動の観察と確認及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	物語の展開の中に浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。 教材：太宰治「葉桜と魔笛」	○			◎	○	a：表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 d：情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 e：作者の思想や作品について、理解を深めている。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e：記述の確認及び定期考査

